

対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案に対する パブリック・コメントの募集結果

1. 目的

パブリック・コメントとは、行政が意志決定をする際の政策等を事前に公表し、その案について広く市民からのご意見や情報を募集するものです。今回「対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案」について、下記のとおり実施しましたところ、次のようなご意見をいただきましたので、回答とともにお知らせします。

2. 募集期間

平成27年11月26日（木）～平成27年12月10日（木）

3. 意見応募件数

3件（7項目）

4. 意見に対する回答

意 見	回 答
<p>(1) 重点戦略2、「島の魅力を活かした交流・移住・定住を促す」の現状中にある島外高校への流出率の増加により島内高校の生徒数が減少している課題を解決するため、施策の方向性及び概要中で、地元高校への進学者への支援とあり、将来目標中に15歳から19歳までの転出数を抑制するとありますが、15歳で島外高校に進学するのはさまざまな理由はあると思いますが、そのほとんどは偏差値の高い進学高に自らの意思で努力して進学している者及びスポーツ推薦などと、学力的に島内3高にも進学出来ない者の2とおりがその大半を占めていると思います。前者については将来の夢の実現のために少しでも成績の良い学校やスポーツの盛んな学校に入り努力をしている者達であり、島内高校の生徒数の減少理由や指標とするのは島外高校へ進学している者へ大変失礼で如何なものかと考えます。</p> <p>また、後者についても地元高校への進学者支援という形ではまったく意味をなさず、教育現場における学力向上に向けた取組の強化や教育環境の整備が必要ではないでしょうか。</p> <p>県・市教委及び保護者一体となった学力向上方策などといった施策が必要では無いでしょうか。</p> <p>その他、コールセンターなどの企業誘致でも優秀な人材確保が優先課題となりますので、そのためにも誰でも島に残せばいいのでは無い訳で、優秀な人材が必要となることから、人材育成が課題の解決策ではと考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。島外高校への進学理由等については、おっしゃるとおりであり、総合戦略推進会議の中でも議論させていただいております。</p> <p>今回、総合戦略に盛り込んだのは、現状を少しでも改善するため、市内にある3つの高校が、少しでも本土にある進学・スポーツといった子どもたちの将来の夢を実現させられる魅力ある高校となるように、また、保護者の皆様が市内の高校に進学させれば大丈夫とだけ思っていただけの環境づくりを対馬市、長崎県、市内3高校、市内中学校が連携して、取り組んでいこうとするものです。</p> <p>また、教育現場における学力向上に向けた取組みの強化や教育環境の整備についても同様であり、3高校が独自に魅力ある取組みを行なう際の支援も検討していくこととしており、現在、市内3高校と対馬市において、高校の魅力化について構想を策定しているところであります。</p> <p>島外の高校へ進学している方へ大変失礼で如何なものかのご意見もいただいておりますが、決してそのような意図ではなく、繰り返しとなりますが、島外の高校へ進学しなくても、島内の3高校で進学、スポーツ等の将来目標を達成できる環境を関係者が一体となって取り組んでいくことを基本として策定しておりますことをご承知いただきたいと思っております。</p> <p>なお、人材育成の必要性は十分理解しており、継続した育成の場面を作っていくことが重要です。市だけでなく、関係機関、民間事業者等の協力も不可欠でありますので、今後も継続して取組みを行なって参ります。</p>

意見	回答
<p>(2) - 1 : 対馬は、四面海に囲まれた島であり、89%の森林を有するので、農業、林業、漁業、観光の4分野による連携を要するのではないのでしょうか。</p>	<p>おっしゃるとおりであり、これまでも第1次産業と観光の連携による事業・施策を推進しておりますが、観光業は本市において、最も今後の可能性を有する分野のひとつといえますので、今後なお一層の連携強化により、地域経済の活性化に取り組んで参ります。</p>
<p>(2) - 2 : 対馬島外の方、韓国の方が観光で多く来られているが、わかりやすいよう観光案内板の整備及び観光ガイドの体制を強化すべきである。</p>	<p>観光案内板については、毎年、計画的に市内の主要観光箇所に整備しており、今後も継続して参ります。 また、観光ガイドについても、現在プロの観光ガイドや教職員OBなどが中心になって「対馬観光ガイドの会やんこも」を組織していることから、同会と連携しながら体制強化に取り組んで参ります。</p>
<p>(2) - 3 : 高齢者の技術等を活用した取り組みを強化すべきである。</p>	<p>ご指摘の件については、重点戦略4の「高齢者が健康で生きがいを感じられる環境を創る！」の中で、シルバー人材センターの拡充や魅力ある公民館講座事業の取り組みを強化していくこととしており、平成28年4月から5年間の方向性を示す本市の最上位計画である「第2次対馬市総合計画」の中でも同施策を推進していくことを明記しております。</p>
<p>(2) - 4 : 適齢期を迎えた未婚者の解消のため、結婚相談所の設置等、体制を整備すべきである。</p>	<p>未婚者解消のための施策としては、重点戦略3の「安心して結婚・出産・子育てができる環境を創る！」の中で、市をはじめ、各種団体による実行委員会形式にて出会いの場創出に係る縁結びイベントを本年度から実施することとしております。 その他にも保育所や幼稚園料金の低廉化や医療費軽減の検討など、官・民が一体となって、結婚、出産、子育てがしやすい環境の整備に努めていくこととしております。 結婚相談所の設置については、本市では1件民間事業者が実施しておりますことから、民間活力の分野と捉えております。</p>
<p>(2) - 5 : 韓国人観光客の目的を把握して、対応策や諸施策を考えていくべき。また、宿泊施設の増設については、対馬の木材を使用して韓国の風土にあった家作りやオンドル設備をした家造りも必要と考える。</p>	<p>韓国人観光客の観光目的については、これまでもアンケート調査等を実施し、把握してきております。また、併せて、韓国人観光客のマナーアップのための研修や受け入れ側である市民への語学研修等を実施してきており、今後も継続して取り組むこととしております。また、宿泊施設の増設に係る対馬木材の使用やオンドル設備については、民間事業者が主体となって取り組んでいただくことと認識しており、そのような取り組みに対する助成について、次年度、事業化を検討していきたいと考えております。 なお、オンドル設備については、現在、上対馬町の民間の方が整備していることを申し添えます。</p>

意見	回答
<p>(3) 総合戦略の全般の表記について、「若い女性の働ける場の創出」や「子育て環境整備における母親間のコミュニケーションの場の創出」など、女性に特化した表記が多く見受けられます。一例を挙げると育児は夫婦が共に行なうものであり、男女共同参画の観点からも表記方法について、再度、検討いただきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>男女共同参画社会の構築は本市の主要施策のひとつでもありますので、表記方法は再度検討したいと考えておりますが、本市における実情としては、残念ながら育児分野はまだ、女性中心で行なわれているのが実態と感じており、現実的に現在、ご苦労されているお母さん方への支援強化が喫緊の課題との認識で記述しております。</p> <p>本戦略は、平成27年度からの5ヶ年間の計画でありますことから喫緊の課題部分をまずは早急に実施しながら、男女共同参画社会の構築に向けた各種の取組みを市民皆様の理解を得ながら一歩ずつ前進させていく方針でございますので、何卒ご理解いただきたいと思っております。</p>